

日時: 8月13日(月) 天候: 曇り
 球場: 明治神宮野球場 第1試合 決勝戦
 球審:

天理高校 対 徳風高校・通信制
 試合時間: 2時間47分 備考:

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
天理	近畿・奈良	1	1	1	2	0	2	0	4	0							11	7	1
徳風・通	東海1・三重	0	1	0	0	0	1	0	1	1							4	8	4

天理		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	右	窪田 倫久	5	2	1	0	中3	三振		二ゴ		四球	二ゴ	二ゴ					
2	二	横山 翔	2	1	0	1	三振	死球		四球		一犠	捕邪		四球				
3	捕	本田 雄一郎	1	3	0	0	四球	中飛		四球		四球		死球	四球				
4	左	鈴木 克幸	5	1	1	2	投飛		四球	左2		投飛		右飛	遊飛				
5	遊	名須 和成	5	1	2	2	三ゴ		三ゴ	遊ゴ		左安		右安	死球				
6	三	加藤 健一	6	1	1	1		二失	三振	左飛		投失		左2	一ゴ				
7	一	藤原 元気	2	2	0	0		死球	四球		三ゴ	三振		死球					
8	投	本間 義康	4	0	1	1		死球	中安		遊ゴ		三振	三振					
9	中	本多 幸広	5	0	1	2		投ゴ	投ゴ		三ゴ		三失	右3					
合計			35	11	7	9	残塁:13 併殺:0												
備考																			

バッテリー

投手
本間 義康

捕手
本田 雄一郎

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
本間 義康	9	43	8	2	10	4

徳風・通		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二	中島 啓吾	2	0	1	1	四球	四球			四球	守妨		中3					
2	一	山崎 陽介	3	0	0	0	四球	死球		投ゴ		投ゴ	一ゴ						
3	遊	早川 友将	3	1	2	0	左安		四球	四球		一ゴ		一安					
4	捕	霸 快晴	4	0	0	0	遊ゴ		捕飛	二ゴ		四球		三ゴ					
5	中	田中 俊輔	4	0	0	0	右飛		投ゴ	左飛		四球		捕邪					
6	投	佐々木 豊	5	1	2	1		遊ゴ	捕邪			左2	左飛	中安					
7	右	河合 真人	5	1	1	0		中2		遊ゴ		投飛		三ゴ	右飛				
8	左	柴坂 健斗	3	0	2	1		中3		三振		遊安							
8	打	米山 泰玄	0	0	0	0								四球					
9	三	松本 和真	3	1	0	1		三振		一邪		中犠		二ゴ					
合計			32	4	8	4	残塁:12 併殺:0												
備考																			

バッテリー

投手
佐々木 豊
田中 俊輔
佐々木 豊

捕手
霸 快晴

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
佐々木 豊	4	24	3	3	8	4
田中 俊輔	4	22	4	3	4	5
佐々木 豊	1	5	0	0	3	0

戦評

決勝戦は両チームの投手が共に制球に苦しんで、リズムを作り難い試合展開となった。勝負はしかし、前半から着実に得点を重ねた天理が終始優位に立ったまま決まる。天理のエース本間は、再三走者を背負う苦しい投球であったが、要所を締めた。特筆すべきは、捕手本田が強肩とインサイドワークを生かして徳風の盗塁を刺し、同校のフトワークによる揺さぶりを封じたこと。また難しい本塁付近の小飛球を鋭い出足で繰り返し好捕したことである。徳風は安打数、長打数において相手に劣らぬ健闘を見せたが、最後までつながりを欠き、4度の得点はすべて1点ずつに止まり、9回も粘りを見せたが、4点目を返すまでが精一杯であった。先発投手佐々木は立ち直る機会を得ることができず2番手田中も流れを断つかに見えたが、8回につかまる。猛暑の中、連戦に次ぐ連戦の疲れを見せず、終始果敢なプレーを展開した天理高校に2年ぶり4度目の栄冠は輝いた。